

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 23 年 6 月 23 日 (2011.6.23)

【公開番号】特開 2008-308981 (P2008-308981A)  
 【公開日】平成 20 年 12 月 25 日 (2008.12.25)  
 【年通号数】公開・登録公報 2008-051  
 【出願番号】特願 2008-122771 (P2008-122771)  
 【国際特許分類】

**E 0 4 F 13/02 (2006.01)**

【 F I 】

E 0 4 F 13/02 C

E 0 4 F 13/02 E

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 4 月 28 日 (2011.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

建築物外壁面の構造体であって、  
 壁体材料と、該壁体材料上に設けられた断熱材層とからなる外断熱構造基材に対し、  
 下塗材層、装飾性塗材層が積層され、  
 装飾性塗材層は目地により区画されている外断熱装飾仕上げ構造体。

【請求項 2】

前記外断熱構造基材は補強層を有し、該補強層は断熱材層上に設けられ、  
 該補強層は、ポリマーセメント層及び / または網状体からなるものである請求項 1 記載の  
 外断熱装飾仕上げ構造体。

【請求項 3】

前記下塗材層は、外層にアクリル樹脂、内層に環状シロキサン化合物に由来するシリコーン樹脂及びアクリル樹脂を含む多層構造型合成樹脂エマルジョンを含むことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の外断熱仕上げ構造体。

【請求項 4】

(A) 建築物外壁面の壁体材料上に、断熱材層が積層された外断熱構造基材に対し、下塗材を塗付して下塗材層を形成する工程、  
 (B) 該下塗材層の表面に目地材を貼着する工程、  
 (C) (B) で得られた表面に装飾性塗材を塗付する工程、  
 (D) 目地材の一部または全部を脱着する工程、  
 を含む外断熱装飾仕上げ工法。

【請求項 5】

断熱材層上に補強層が設けられ、該補強層は、ポリマーセメント層及び / または網状体からなるものである請求項 4 記載の外断熱装飾仕上げ工法。

【請求項 6】

前記下塗材が、外層にアクリル樹脂、内層に環状シロキサン化合物に由来するシリコーン樹脂及びアクリル樹脂を含む多層構造型合成樹脂エマルジョンを含むことを特徴とする請求項 4 または請求項 5 に記載の外断熱装飾仕上げ工法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

すなわち、本発明は以下の特徴を有するものである。

1．建築物外壁面の構造体であって、

壁体材料と、該壁体材料上に設けられた断熱材層とからなる外断熱構造基材に対し、

下塗材層、装飾性塗材層が積層され、

装飾性塗材層は目地により区画されている外断熱装飾仕上げ構造体。

2．前記外断熱構造基材は補強層を有し、該補強層は断熱材層上に設けられ、

該補強層は、ポリマーセメント層及び／または網状体からなるものである 1．記載の外断熱装飾仕上げ構造体。

3．前記下塗材層は、外層にアクリル樹脂、内層に環状シロキサン化合物に由来するシリコーン樹脂及びアクリル樹脂を含む多層構造型合成樹脂エマルジョンを含むことを特徴とする 1．または 2．に記載の外断熱仕上げ構造体。

4．(A) 建築物外壁面の壁体材料上に、断熱材層が積層された外断熱構造基材に対し、下塗材を塗付して下塗材層を形成する工程、

(B) 該下塗材層の表面に目地材を貼着する工程、

(C) (B) で得られた表面に装飾性塗材を塗付する工程、

(D) 目地材の一部または全部を脱着する工程、

を含む外断熱装飾仕上げ工法。

5．断熱材層上に補強層が設けられ、該補強層は、ポリマーセメント層及び／または網状体からなるものである 4．記載の外断熱装飾仕上げ工法。

6．前記下塗材が、外層にアクリル樹脂、内層に環状シロキサン化合物に由来するシリコーン樹脂及びアクリル樹脂を含む多層構造型合成樹脂エマルジョンを含むことを特徴とする 4．または 5．に記載の外断熱装飾仕上げ工法。